

重点施策点検・評価表

1-1-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る		担当課(館)
	① 大規模改修等による学校整備計画の推進		教育総務課
	活動内容	小中学校25校中、8割にあたる20校が建設後30年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じる必要があるため、平成31年3月に策定した「学校施設長寿命化計画」を基に、建築経過年数や構造体の健全度、統廃合の見込みなどを考慮し、改築と大規模改修対象校を選定して事業実施に必要な調査に着手する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 令和2年度に、建築年の古い桂城小・城南小の改築を検討し耐力度調査を実施したが、躯体の健全性が示され、学校整備は「改築」から「長寿命化改修」へとシフトすることになった。そのため、大規模改修や部位改修を計画的に進めるための中期(5か年)整備計画を策定し、新型コロナウイルス感染症対策及び環境衛生改善のため、文部科学省の交付金を活用して小学校3校のトイレ洋式化工事を実施した。 また、令和2年度から3年度にかけて、小中学校の普通教室及びランチルーム、中学校理科室にエアコンを設置し、猛暑における快適な学習環境の改善が図られた。	
	課題等	トイレ洋式化は、国の補正予算を活用し、事業費を前倒して4年度も引き続き実施することになった。加えて、市の木材利用推進計画に基づく木材利用や、ゼロカーボンシティや環境に配慮した整備を改修に組み込む必要がある。そのため、文部科学省をはじめ各種交付金・補助金を洗い出し、積極的な活用により子どもたちの教育環境の整備を進めていかなければならない。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	令和3年度に「中期整備計画」を策定し、教育環境の整備充実のための行動を開始している。子供たちにとって身近なトイレの洋式化を前倒して実施し、令和4年度も引き続き予定するなど、状況を判断して取り組んでいる姿勢を評価したい。	
	② 学校の維持改修・修繕などの経年劣化対策実施による快適な学習環境の整備		教育総務課
	活動内容	施設や設備の改修・修繕が必要な箇所や学校・PTA等から要望がある改修箇所は、次年度予算の要求前に調査を行い、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出した上で、危険度などの優先順位を定めて計画的に工事を実施する。 大規模改修や年次計画による改修工事等を計画する場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う改修・修繕は、計画的な施工のほか突発・緊急的な事故等にもすぐに対応し、学校運営に支障をきたさないよう適切に処置した。しかし、次々と破損や故障が発生するため、即座に緊急度や優先順位を判断し、限られた予算を最大限に活用し対応した。 また、大雪となった今冬は積雪による被害が相次ぎ、被害発生が疑われる事案を事前に覚知した場合は、教育委員会職員が人海戦術で除排雪を行うなど、被害の未然防止に努めた。	
	課題等	学校やPTA等からの要望は、老朽化が進む校舎や設備に対する改修がほとんどであり、年々増加する一方だが、教育活動を止めることのないよう緊急・突発的な修繕を優先せざるを得ないため、要望の改善が不十分である。しかしながら、長年要望が強かったエアコン整備や、3か年かけた学校遊具整備事業など着実に進めてきた成果もみられることから、引き続き、実現可能な施策の情報収集と、あらゆる予算の確保に努めていく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	突発的な依頼が多いとは思いますが、学校やPTAからの要望に応えるべく、限られた予算を工夫して対応している。特に、大雪となった今冬は、被害防止のために教育委員会の職員が直接出向いて作業して下さったことに感謝したい。	

重点施策点検・評価表

1-1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	③ 会計年度任用職員(校務主事等)の適正な人事管理
	教育総務課
活動内容	小中学校に配置している校務主事など、教育総務課で任用して給与の支払いやサービスに関して管理している会計年度任用職員は約200人に上る。配置校によって勤務時間や勤務条件も多種多様で、中途退職者も多いことから、適正な人事管理により児童生徒の学校生活を支援し、より良い教育環境づくりを進める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 教育支援員や給食調理技師等に年度途中の退職者が数名発生したが、ハローワーク等を通じて随時補充し、学校運営や教育活動に支障をきたすことなく適正に管理した。
課題等	毎年実施してきた安全衛生講習会など、会計年度任用職員に対して実施する必要がある教育が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止または規模縮小に追い込まれている。 現時点ではコロナの収束は見込めない状況にあるため、スキルの向上につなげる教育の機会をどのようにして確保するか検討する必要がある。
学識経験者等の意見	学校において、人的欠員が発生することのないよう迅速に対応したことは、大変ありがたいことである。職務の遂行に必要な教育や働き方の改善については、コロナ禍のため実施に困難を伴うが、可能な限り実施及び対応していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 社会教育施設の充実と安全性の確保
	教育総務課
活動内容	高齢者や障害者の利用に配慮し、田代図書館、田代公民館の手摺設置工事を早期に完成させる。比内公民館のエアコン更新や北地区コミュニティセンターの排煙装置補修工事等の改修・補修工事は施設利用者に配慮しながら滞滞なく実施し、地域コミュニティの核となる施設の良い環境を維持する。 経年劣化による故障や破損には応急処置などで対応しながら施設の機能維持を図り、速やかに必要な予算を確保して修繕や改修を行い、利用者の安心と安全確保を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 田代図書館、田代公民館の手摺設置工事は5月初旬に完成させ、その他公民館のエアコン更新工事や郷土博物館空調設備更新工事などを計画的に発注し、利用者の利便性の向上と良好な利用環境の整備に努めた。
課題等	令和3年3月に策定した「大館市社会教育施設長寿命化計画」に基づき、施設所管課の生涯学習課と連携し、施設の集約化及び存続施設の改修について、計画的実施を実現する整備計画を策定しなければならない。 なお、大規模改修工事等には多額の費用が必要となるため、補助金等の財源の確保が課題となる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	社会教育施設の充実と安全性の確保など、他課と連携して当初予定していた工事を予定どおり完了したことを評価したい。リーダーシップを発揮して当該課等に整備計画を策定させ、計画的に整備を進めていただきたい。
	② 公民館等の社会教育施設の適正管理
	教育総務課
活動内容	施設の運営に直接影響を及ぼす高圧気中開閉器更新工事(栗盛図書館)や、衛生環境向上のための下川沿公民館及び有浦児童館下水道接続工事を実施するほか、年間を通じて管理が必要な保守点検等を施設管理者と調整を図りながら進め、良好な施設運営と適正な施設管理を維持する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 施設運営に直接影響を及ぼす工事は早期に施工し、その他当初から計画していた工事は予定どおり完成させた。 また、設備の故障や不具合には、施設管理者と連携しながら速やかに対応し、利用者の活動に支障をきたさないよう維持管理に努めた。
課題等	建物の老朽化に伴う修繕は元より、設備の故障が多くなってきている。 保有施設50施設のうち約6割が築30年を超えてきている現状から、故障による施設利用停止とならないよう、計画的な更新計画を作成し進めていく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	保有施設の老朽化により、計画的な更新計画の作成とその実施は急務となっている。市内における各施設の「位置づけ」を広く吟味し、この先数年後を見通した準備を進めていただきたい。

重点施策点検・評価表

1-3

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎月開催する教育委員会会議に、実施する施策やその進捗状況などを的確に報告し、協議や討議内容を議事録にまとめてホームページ等で公表する。 教育委員会事務事業の点検・評価表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動内容を市民をはじめ全国に発信し、取り組みを進めている教育の産業化構想やおおだて型教育の周知を図るとともに、大館で学ぶ移住・交流人口の拡大に努める。 教育委員会活動の透明性を図るため、ホームページや定例記者会見、報道機関などを活用し、情報発信をより積極的に行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育委員会会議及び総合教育会議や、教育委員会事務事業の点検・評価の結果を市ホームページで公表し、大館の教育が取り組む活動状況への理解を深めていただくとともに、教育委員会が進めた政策の透明化を図った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている家庭を支援するため「教育ローン利子補給事業」を実施するにあたり、ホームページのほか、市長記者会見や報道機関への情報提供などによる積極的な情報発信を行い、事業の周知を図った。
課題等	大館の教育の理念と実践結果を全国に情報発信する手段として、主に市ホームページを活用しているが、日常生活の中における情報発信媒体の多様化に伴い、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)等のアプリケーションサービスを活用した発信手段の検討を進めていく必要がある。
学識経験者等の意見	現在、教育委員会のホームページや市の広報、新聞等の報道機関を活用して情報発信がなされている。伝えたい対象や内容によって、利用するメディアを工夫したいと思う。市の広報は全戸配布であり、身近で有力なメディアだと思う。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 東北都市教育長協議会役員会・定期総会開催時における「おおだて型授業」の発信
	教育総務課
活動内容	東北都市の教育長が集う「東北都市教育長協議会」の役員会(3年10月)及び総会(4年4月)が45年ぶりに本市で開催される。いずれの会も小中学校の授業を視察する予定としているため、絶好の機会と捉え「おおだて型授業」を全国に発信する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により役員会はオンライン開催となり、「大館型授業」を視察して全国に発信する機会を得ることが出来なかった。
課題等	令和4年4月21、22日の総会は、予定どおり本市で開催されることが決定している。コロナ感染症対策を講じ、万全の態勢で東北各都市の教育長をお迎えし、初日に行われる授業視察で、ふるさとキャリア教育に取り組んできた10年の成果に理解を深めてもらい、全国に「おおだて型授業」を発信する機会としなければならない。
学識経験者等の意見	東北都市教育長協議会の役員会や定期総会が開催されること自体が大きな出来事であり、大館市の教育というパッケージが高く評価された結果と認識している。令和4年度の実施後は、その成果を市民にも強く発信していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度